

# 話そう！生かそう！農地と地域

～ひょうごの農地有効活用シンポジウム2019から～

たつの市の赤とんぼ文化ホールで昨年11月12日に開かれた「ひょうごの農地有効活用シンポジウム2019～たんぼとむらのR e デザイン～」(主催=兵庫県・兵庫みどり公社・兵庫県農業会議)。魅力ある地域づくり研究所の可知祐一郎代表が基調講演し、農地バンクひょうご(農地中間管理機構)の山内博司機構長が「いきいき農地バンク方式」を紹介した。続いて、農業委員会会長ら4人がパネリストとなり、人・まち・住まい研究所の浅見雅之代表社員をコーディネーター、可知祐一郎氏をアドバイザーに、パネルディスカッションが行われた。

各地で農業の担い手不足が顕在化する中、地域課題をめぐる話し合いや、リーダー像などについて考えたパネルディスカッションの要旨を紹介する。

兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫

猪澤敏一(たつの市農業委員会会長) 宮崎隆(西脇市農業委員会会長職務代理者) パネリスト 亀村庄二(香美町農業委員会会長) 大西富美子(丹波篠山市農業委員会会長職務代理者)

地域の集落営農活動にリーダーシップを発揮し、営農組織の広域合併と法人化に尽力。集落営農法人の代表として地産地消や食農教育にも取り組む。

地元集落の人・農地プランの実質化に向け中心的に活動。地域での啓発に努め積極的に遊休農地解消に取り組む。

人・農地プラン策定に関わって良かったことは、非農家の人も作業してくれること。若い農業後継者が市外にいくことが分かったことで、将来に向けて希望が持てた気がする。

亀村 香美町の中山間地域では畦畔が非常に大きく、水路が数多くあり、大規模経営者が亡くなったこと、話し合いが始まり、農業委員と農地利用最適化推進委員が人・農地プランの作成に関わるとともに、中核的耕作者として入



宮崎さん

浅見 皆さんの、地域での活動は、田園風景の美しいたつの市でグリーンファーム推進という会社を作って、地域の田んぼを守っている。市内では、集落営農連絡協議会を中心に、地産地消を推進している。これからは、農地を守っていくために、農業委員会一同全力を尽くしたい。

宮崎 私が集落は、2005年には耕作者が28戸だったが、現在は13戸。転作組合があり、長年組合の役員をしているが、農地の担い手が年々減少し、集落で何かあるたびに、農地や担い手の現状についてよく話し合ってきた。人・農地プランの策定について、「自分の集落でやらない」という思いがあった。

問題は、将来集落の中心となる担い手を確保できるかということ。農地を集積・集約化するのに集落内の人間関係が障壁となるだろうという不安があった。転作組合のメンバーが担い手となって、相談や話し合いによって解決をしようとしている。

人・農地プラン策定に関わって良かったことは、非農家の人も作業してくれること。若い農業後継者が市外にいくことが分かったことで、将来に向けて希望が持てた気がする。

亀村 香美町の中山間地域では畦畔が非常に大きく、水路が数多くあり、大規模経営者が亡くなったこと、話し合いが始まり、農業委員と農地利用最適化推進委員が人・農地プランの作成に関わるとともに、中核的耕作者として入



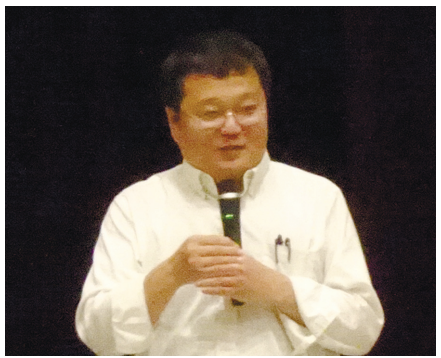
アドバイザー 可知祐一郎

可知祐一郎(魅力ある地域づくり研究所代表) 魅力ある地域づくり、農地集積・集約化、担い手の確保育成、人・農地プランの実質化などについて全国でアドバイザー活動を展開。

## 非農家の人を巻き込もう 地区全体で守る意識必要



参加者全員で「頑張ろう三唱」



亀村さん

浅見 地域での取り組みが、初と比べて地域の人たちの変化は、

猪澤 集落営農を作った最初の15年くらいは、先輩方が田んぼを見て、アドバイザーをくれた。それ以降は、仕事を営農組合に任せようという状況。30年間、集落営農が村を守ってきたこと、若い人に田んぼに出るようになって、出て来てほしいという状況を生かすという状況が生まれた。一人を守らないで、みんなを守る方がいんじゃないかと伝えていく。集落全体で農地を守る必要性を感じていくと思う。

浅見 可先生、まとめのコメントを。今、話し合いは、楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。

## 話し合いを進め、農地と地域を守ろう



猪澤さん

## 一人で悩まず仲間と一歩 地域農業に女性の参画を



大西さん

浅見 農地を預けている土地所有者に、任せっぱなしではないと伝える長いアイデアは。

可知 一つの方策として、地域での話し合いができるだけ多くの女性と若い人に出してもらう。農地を預けた人たちも、将来お孫さんやお孫さんが暮らしていく地域なので、ツケを子供に付けたいという気持ちで、話を聞いてほしい。もう一つ大事なことは、草刈りや水管理などできるだけ長く関わり、自分たちの地域への愛着を失わないような取り組みだと思ってる。

大西 倉庫内の仕事など、少しでも女性が入ってほしい。後継者を作っていくという目標を、田植えを知らないという状況を生かすという状況が生まれた。一人を守らないで、みんなを守る方がいんじゃないかと伝えていく。集落全体で農地を守る必要性を感じていくと思う。

浅見 可先生、まとめのコメントを。今、話し合いは、楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。楽しくやるのが一番大切。

兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫 兵庫

動画を貸し出し このパネルディスカッションの動画の貸し出しを希望の方は、兵庫県農業会議(☎078・391・1221)まで。

謹賀新年 二〇二〇年 元旦 兵庫県農業会議 会長 藤本 西浦 副会長 廣納 道正 副会長 道正 道正

### 農地バンク活用の推進 農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さまへ

## 農地の集積・集約化を進めましょう

地域の皆さまとともに、農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さまと関係機関・団体が連携協力して、地域の貴重な財産である農地を守り未来につなげましょう。

農地中間管理事業の流れ

```

    graph TD
      A[農地バンク(貸付希望者)] -- 貸付 --> B[公益社団法人 兵庫みどり公社]
      B -- 貸付(転貸) --> C[農地バンク(借受希望者)]
      D[農業委員・農地利用最適化推進委員] -- 働きかけ --> A
      D -- 働きかけ --> C
      D -- 連携・協力 --> B
  
```

### 農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さまにはこんな活動をお願いします

**活動1** 地域の中で、活動しやすい体制を作りましょう

あらかじめ地域団体の役員と顔合わせなどをして、地域の中で活動しやすい体制を整えましょう。

**活動2** 地域の相談役になりましょう

寄り合いや座談会などに出席し、農地と担い手の問題について、地域の声を聴きましょう。

**活動3** 出し手や受け手の情報を集めましょう

経営規模の縮小やリタイアを考えている農家や、経営規模の拡大を計画している農家の意向を把握しましょう。

- アンケート調査
- 農地利用状況のマップ化
- 戸別訪問 など

**活動4** 効果的にマッチングを進めましょう

市町や農地中間管理機構と情報を共有しながら、地域の話合いに沿って農地の出し手と意欲のある担い手とのマッチングを進めましょう。